

第10年度(平成28年度) 通常総会開催

3月12日(日)午後5時から第10年度(平成28年度)通常総会を開催しました。平成28年度も黒字決算となり、組合員様のあたたかいご理解とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。今回、組合員様が1名増え34名となりました。又、ほたるの里発足以来10年目を迎え、10年間役員を変更することなく続けてきたのですが、今回、谷口忍理事が辞退され、新たに谷山均氏が理事に就任していただき、新たに出発していくことになりました。

総会終了後、京丹波町商工観光課長の山森英二様をお迎えし、講演～商工観光課からの情報報告:課題と対応～を聞きました。さらに懇親会では、ほたるの里の女性部「夢ほたる」の皆様による「猪なべ」と加工グループのヒット商品「きのこごはん」のお披露目をしていただきました。ほんとに夢ほたるの皆様には、毎回食事をお世話になり、ありがとうございました。又、猪なべの材料の提供をしていただきました組合員様にはありがとうございました。美味しい料理をいただきこれからのほたるの里は、安定した農業経営、地域の活力向上、みんなの力を結集して頑張っていける確信が持てました。尚、今回の特徴は、農業の問題点の一つ、後継者育成を考慮していくことと、ほたるの里の女性部「夢ほたる」の組織構成を明確にし、お世話になることになりました。皆様の力を結集して今年もまい進していきたいと思っております。皆様のなお一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年の営農

毎年、作付けをどのようにするか頭を悩ませます。コシヒカリ、羽二重もち、黒大豆、黒枝豆、小豆、飼料稲(WCS)、酒米(京の輝き)をどこの圃場で栽培するのか。丹波の特産品、黒大豆は連作を嫌うし、湿気田は不向きである。黒大豆の圃場は限られています。50a以上の団地転作しなければ補助金対策にならない。酒米「京の輝き」についても50a以上団地転作しなければ補助金が安い等を考量して作付け計画を立てました。又、丹波で特Aの評価になったキヌヒカリに挑戦することに決めました。

肥料や営農方法に関しても、考慮なくてはなりません。各圃場によって土壌が異なります。経済的なことも視野に入れなければなりません。ほたるの里の作物は、有機農法を目的としています。エコファーマーの認定を受けている圃場は、これまで南谷地域のみを実施していました。エコファーマー農法では収穫が落ちますが、今年はヒノクチ、佃地域まで拡大する計画を立てました。又、他の圃場に関しても有機肥料を主体とした農法に切り替えていこうと思っています。コシヒカリは倒伏する品種であり、窒素肥料の施肥に苦労します。多ければ倒伏するし、少なければ、収量が少ない。昨年の圃場に何が植わっていたのかも把握しておく必要がある。今年は、日当たりのよい場所でのコシヒカリの株間を最大に広げて植えることに挑戦していきたいと思っております。

キヌヒカリはコシヒカリと異なり倒伏しないと聞いています。市場の評価は安くておいしいキヌヒカリが人気となっているとも聞いていますので少々作付けすることに決めました。しかしキヌヒカリにも栽培の注意点がある。発芽しやすいこととあります。刈り取り時に雨が多いと、稲穂が立っている状態で発芽する点です。それらを考慮して栽培していきたい。

黒大豆、小豆に関しては、連作となりますが、ほぼ昨年同様の圃場で栽培していくことに決めました。

これからシーズン組合員様のご協力をよろしくお願い申し上げます。後は、おてんとうさまにお願いするしかありません。**どうか良い年になりますように！**

美しいふるさとをみんなの力で守っていこう